

広報 いずみの

KOUHO
IZUMINO

平成 22 年創刊

寒い日が続いていますが体調お変わりなくお過ごしでしょうか。今回は最終回となりました言語聴覚士紹介シリーズのインタビューと秋・冬の行事レクリエーションの様子をご紹介します。

スタッフ紹介シリーズ第3回「言語聴覚士の紹介」

- インタビュー内容
- ① いずみの言語聴覚士の特色は？
 - ② 言語聴覚士になったきっかけは？
 - ③ いずみのの良いところは？
 - ④ 今後の抱負は？

おおた まさつぐ
太田 眞嗣です。けやき町を担当しています。

① 他の老人保健施設との大きな違いは、他のリハビリ職とは別枠で言語療法を受ける事ができます。その為、必要性や希望に応じ言語療法の時間を最長1日あたり1時間、頻度は多ければ平日毎日（土曜や休診日除く）介入できることが特色の1つです。

② 言語・コミュニケーションのリハビリって何？という興味から現在に至っています。

③ あまり職種にとらわれずに相談や話ができること。また、多職種の専門性を活かした話し合いの場が整っていること。

④ 知識や経験を積み、入所されている方の助けに少しでもなれるよう頑張ります。



とや ふくみ
戸谷 福海です。さくら町を担当しています。

① 言語聴覚士の中では貴重な男性言語聴覚士がいる事と鹿教湯病院とも連携した支援が行えるところです。（詳しい検査が必要になった時は病院で調べてもらえる。VF（飲み込みのレントゲン検査）など。）

② 家族が言語訓練を受ける機会があり、そこで言語聴覚士の存在を知ったことがきっかけです。その後言語聴覚士について調べていくうちに更に興味がわき目指すようになりました。

③ 美味しいご飯が出るところです。誕生日の日や行事の時は特別メニューが出るので、いつも食事介助しながら「いいな」と思っています。

④ 利用者様の生活がより充実できるようコミュニケーションや食事の支援を行います。



ホームページもご覧下さい

老健いずみの

検索

介護療養型老人保健施設 いずみの
〒386-1106 上田市小泉 72-1
TEL0268-26-6600 Fax0268-26-6615
通所リハビリテーションいずみの
TEL0268-26-6650
いずみの居宅介護支援事業所
TEL0268-26-6680
訪問看護ステーションやまびこ
TEL0268-26-6640
鹿教湯病院訪問リハ塩田出張所
TEL0268-26-6625

八所階行事レク

11月に初めての試みとなる利用者さんとの外出に出かけました。敬愛学院内にある『楽食』というバリアフリーレストランで職員も一緒に食事しました。利用者さんからは好評の感想をたくさんいただきました。今後も皆さんの要望を活かしてより良い行事を提供していけたらと思います。



10月に入所各階で運動会を開催しました。「動けないから…」と遠慮しがちだった利用者さんも「昔を思い出して楽しめた」と白熱した試合が行えました。

12月に入所階合同でクリスマス会を開催しました。職員のハンドベル演奏と日頃から練習してきた『ほほえみ列車』という曲の合唱、ボランティアで来ていただいた二胡奏者の演奏を聴きクリスマスの雰囲気を楽しみました。



いずみのファームだより

いずみので収穫したじゃがいもとさつまいもを数々の料理で提供しました。

ジャガイモのコンソメ煮やビーフシチューやカレー、お味噌汁の具として使用しました。



写真は、さつまいものレモン煮です。



編集後記

昨年、上田シルバー人材センターが昭和六十三年四月の法人設立以来三十周年を迎え、就業提供に対し感謝状を頂きました。

高齢社会を迎え元気高齢者の方々の力をお借りし、より良いサービスの提供を目指してまいります。

